

経済学の視点から見る環境と観光

- 『Climate Change Impacts and Adaptation Strategies in Japan : Integrated Research toward Climate Resilient Society』 Nobuo Mimura, Satoshi Takewaka編 (Springer 2025)
- 『入門環境経済学:脱炭素時代の課題と最適解』 有村俊秀、日引聡著 (中公新書 2023)
- 『環境経済学をつかむ』 栗山浩一、馬奈木俊介著 (有斐閣 2024)
- 『環境と観光の経済評価:国立公園の維持と管理』 栗山浩一、庄子康編著 (勁草書房 2005)
- 『食べる経済学』 下川哲著 (大和書房 2021)
- 『観光経済学:理論とデータで学ぶ』 山内弘隆[ほか]編 (有斐閣 2022)
- 『The Economics of Recreation, Leisure and Tourism』 John Tribe著 (Routledge 2020)
- 『実証分析のための計量経済学:正しい手法と結果の読み方』 山本勲著 (中央経済社 2015)
- 『政策評価のための因果関係の見つけ方』 エステル・デュフロ、レイチェル・グレナスター、マイケル・クレマー著、小林庸平監訳 (日本評論社 2019)
- 『生きること学ぶこと』 広中平祐著 (集英社文庫 2011)

近年の気候変動問題の深刻化により、自然環境への影響が随所で現れ始め、観光への影響も大きくなってきている。観光と自然環境の関係は深く、例えば直接自然に触れ合うことの他に食、景観、気候など多くの点で観光は自然から恩恵を受けている。そのため、持続可能な観光の実現には自然資源の最適な利用を考えることが重要であり、この視座を与えてくれるのが環境経済学である。

以下では、環境、観光、経済の三者の関わりを考える上で役立つ書籍を紹介する。[1]は工学、農学、水文学、経済学など幅広い分野の研究者が、最新の日本における気候変動の問題点とその対策を専門的に分析している。環境経済学の分野において、[2]は入門書だが理論展開も充実している。[3]は、環境経済学の全体を把握するのに役立つ。今や日本の都市人口は約7割に達し、自然環境を身近に感じられる機会である観光は重要である。この観点から、[4]は環境経済学の評価手法を用いた自然資源の管理の重要性を学べる。観光の楽しみ

の一つは食であり、食は環境からの恩恵である。[5]はこのことに気付かせてくれる良書である。また、観光による地域振興は、社会的に最適なのかを考えて実施しなければ、観光公害やオーバーツーリズムの問題を引き起こす。観光活動は経済活動の一つでもあるため、観光を学ぶ上では観光経済学の視点は重要である。一般的な図書 [6]は、ベーシックな経済学の理論から、実証分析への応用まで幅広く扱っている。[7]は観光と経済学の関わりを平易に解説している。経済学は実学でもあり、実証分析へと応用することは重要である。この観点から、[8]は計量経済学の基礎から近年注目を集める因果関係まで幅広く学べる。[9]は2019年のノーベル経済学賞受賞者らが執筆した書籍のある章の訳本で、因果推論の導入に最適である。最後に、今後、学ぶことが苦痛になったり、なぜ学ぶ必要があるのかと感じたりする瞬間があるかも知れない。そのような時に、人生において学ぶことの意味を教えてくれる[10]を紹介する。



観光学部 教授
図書館副館長
野原 克仁
Nohara Katsuhito

Information

利用したい資料が図書館にない…そんな時は「ILL」!

利用したい資料を検索したけど、残念ながら本学図書館に所蔵されていなかった…なんて経験はありませんか？
そんなときは「文献複写申し込み」または「資料借用申し込み」で他機関から資料を取り寄せてみましょう。国内外の図書館で協力し合って、所蔵資料の貸し借りができる(有料*)、これがILL (Interlibrary Loan) です。
2025年6月から外国語文献入手サービス「RapidILL」が始まり、外国語文献の取り寄せにかかる期間が従来よりもぐっと短縮されています。

*RapidILLで入手できた場合、**利用者の料金負担はありません。**



詳細は右記の
QRコードをチェック

RapidILLとは？



レファレンス・
学外資料の利用



Your Library 第60号 (通号119) 発行日 2025年9月20日

編集 野原 克仁 (図書館副館長)
発行人 箕浦 真生 (図書館長)
発行 立教大学図書館

https://library.rikkyo.ac.jp/
連絡先 TEL 03-3985-2628
印刷 立教プリンティングステーション



YourLibrary

Rikkyo Library

No.60

2025.09.20

ISSN 1883-1303

立教大学図書館だより



読書ナビ

観光学部
野原 克仁 教授
Nohara Katsuhito
図書館副館長



リニューアルオープン記念 図書館・旧江戸川乱歩邸共催展示開催

画像上 オンライン版 江戸川乱歩『貼雑年譜』より
画像下 リニューアルした旧江戸川乱歩邸母屋 (応接間)

特集

図書館と旧江戸川乱歩邸

特集

図書館と旧江戸川乱歩邸

リニューアルオープン記念 図書館・旧江戸川乱歩邸共催展示

「RAMPO IN THE MEDIA」開催



▲ 図書館展示ポスター

「君は乱歩を見たか」で始まる印象的なこのポスター、ご覧になりましたか？そして、**展示そのもの**はご覧いただきましたか？

前号59号(2025年4月1日発行)「Information」でお知らせしたように、乱歩生誕130年を迎えた昨年2024年度に、創立150周年記念事業の一つとして「旧江戸川乱歩邸(母屋)」の補修・整備が行われ、今春(2025年5月)にリニューアルオープンしました。各種関連企画・行事が催行されましたが、図書館では、江戸川乱歩記念大衆文化研究センターとの共催により、両機関が所蔵する資料の中から、さまざまなメディアに展開されてきた江戸川乱歩作品にまつわる資料を展示しました。今号ではその概要をお伝えします!!

展示監修:江戸川乱歩記念大衆文化研究センター
濱下知里(立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程)



▲ 後藤隆基編『台本調査報告書』
立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター、2025年3月
ここで紹介されている資料群から、乱歩邸や図書館で所蔵している二次創作資料(乱歩旧蔵資料を含む)を展示。この報告書は図書館にも所蔵しています。

会期 2025年5月12日(月)～6月12日(木)

@池袋図書館 地下1階展示スペース

画像を掲載できなかった展示資料

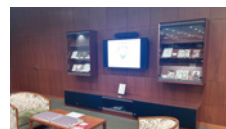
- ・謎文東海道土産 1952年12月11日、浅草花月劇場
- ・『別冊 宝石』第6巻1号 1953年1月
- ・連続放送劇少年探偵団 埋もれた宝石 1957年12月30、31日、ニッポン放送
- ・黒蜥蜴(大映) 1962年3月封切
- ・青山剛昌『名探偵コナン(1)』小学館、1994年6月
- ・春河35・朝霧カフカ『文豪ストレイドッグス(5)』KADOKAWA、2014年8月
- ・石川巧・落合教幸・金子明雄・川崎賢子編『乱歩新世紀―越境する探偵小説』ひつじ書房、2019年2月
- ・『大衆文化』第32号 2025年3月
- ・妖怪博士・鉄塔の怪人 東映撮影所 1955年頃撮影
- ・江戸宵闇妖艶爪―明智小五郎と人間豹 市川染五郎・松本幸四郎出演ポスター 2008年11月3～26日、国立劇場大劇場
- ・黒蜥蜴(美輪明宏主演) ポスター 1993年4月1～18日、東京芸術劇場
- ・劇場版 名探偵コナン 100万ドルの五稜星 ポスター 2024年4月封切



▲ 入館ゲート周辺の様子



▲ BIF展示コーナー展示ケース
乱歩と演劇



▲ BIF展示コーナー撮影風景再生



乱歩を知るための数々の展示品が、7つのテーマによって紹介されました。



表紙画像(上) 『貼雑年譜』(はりまぜねんぷ)とは？「整理魔」乱歩が生涯にわたって収集・整理・保存した“スクラップブック”。これと同じ「作業」をできるヒトはほかにいるのか・・・？
図書館および乱歩邸では「完全復刻版」を所蔵しています。＊右頁「オススメ本」参照

1 乱歩と演劇

1926年にはじめて文士劇に出演し芝居稽古の楽しさを知った乱歩は、戦後も複数の舞台に出演。展示した台本は、いずれも乱歩が出演した際、実際に使用したもの。



▲ 鈴ヶ森 題目塚の場
1951年11月17日、新橋演舞場



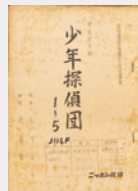
▲ 鈴ヶ森舞台写真

2 乱歩とラジオドラマ

乱歩作品はくり返しラジオドラマの原作・原案に選ばれてきた。特に人気の少年探偵団シリーズでは、最終回に乱歩自身がゲスト出演。



▲ 奇術の種 乱歩直筆メモ
1936年1月10日



▲ 連続放送劇少年探偵団
少年探偵1～5
1956年4月16～20日、
ニッポン放送

3 乱歩作品の映画化

戦後ミステリブームのなかで数多くの映画を生み出した乱歩作品。展示ではポスター(実物)を紹介。



▲ 一寸法師 映画ポスター 1955年



▲ 二十面相の悪魔
映画ポスター
1956年

4 メディアを跨ぐ乱歩

小説から舞台、映画、ラジオへとメディアを跨いで展開された作品として「黒蜥蜴」を紹介。



▲ 黒蜥蜴
(三島由紀夫脚本・
美輪明宏主演)
1993年4月1～18日、
東京芸術劇場



▲ 黒蜥蜴12
(NHK ラジオ)
1976年1月17日
放送



▲ 江戸川乱歩
『黒蜥蜴・妖虫』
新潮社、1934年

5 「乱歩」というモチーフ

近年の漫画作品には、「探偵小説作家」としての乱歩そのものがひろく人びとに共有されている。



▲ 〇青山剛昌／
小学館
2025年4月



▲ 『文豪ストレイドッグス(1)』
著者 春河35
原作 朝霧カフカ
KADOKAWA／
角川コミックス・エース
2013年4月



▲ 『文豪ストレイドッグス(26)』
著者 春河35
原作 朝霧カフカ
KADOKAWA／
角川コミックス・エース
2025年2月

6 乱歩を研究する

乱歩を取り巻く研究書・雑誌も展示。没後60年を経てもなお、乱歩作品は人びとの関心を惹きつけてやまない。



▲ 平井隆太郎
『うつし世の乱歩 父・
江戸川乱歩の懐い出』
河出書房、2006年6月



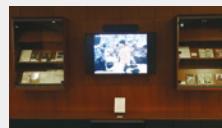
▲ 後藤隆基
『乱歩を探して』
学校法人立教学院、
2024年3月



▲ 『大衆文化』創刊号
2009年4月

7 撮影風景の記録

記録魔として知られた乱歩は、その意識を映画に対しても発揮。乱歩が自らホームカメラで記録した「妖怪博士」(1956年公開)、「鉄塔の怪人」(1957年公開)の撮影風景を紹介。



▲ 撮影風景の再生

乱歩・乱歩邸を知る「オススメ本」

館外貸出し可。是非お手に取ってみてください。

1. 貼雑年譜 / 江戸川乱歩著 東京: 東京創元社, 2001.3
* 限定200部 完全復刻版2分冊 (1.明治27～昭和3 2.昭和4～15)
+ 解説書
** 乱歩邸にも展示されています!
*** オンライン版はQRコードから
<https://j-dac.jp/harimazenenpu/>
2. 旧江戸川乱歩邸・ガイドブック / 藤井淑禎, 落合教幸監修
東京: 立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター, 2010.9
3. 乱歩の世界 / 逢坂剛編著者代表
東京: 江戸川乱歩展実行委員会, 2003.1 付: 江戸川乱歩転居双六



図書館と旧江戸川乱歩邸

旧江戸川乱歩邸と旧蔵書・諸資料が、2002年に一括して立教学院に寄託され、近世資料約3,600点は図書館が保管しています。また、古典籍の自筆書誌カード集「和本カード」はデジタル化され、図書館Webサイトからご覧いただけます。



▲ 和本カード

旧江戸川乱歩邸のご案内

乱歩が日常生活を送った母屋は築100年を経てさまざまな不具合が発生。2025年5月に改修工事が終了し、資料の展示・保存機能が拡充されました。

◆リニューアル概要

- ・母屋と洋館を改修。
- ・邸内に展示室を新設。
- 「作家・乱歩と人間・太郎、二つの人生に出会う場」をコンセプトに、所蔵資料を展示。
- ・旧蔵資料を保存するための収蔵庫を新設。

◆一般公開日

月・水・金曜日(※祝日の場合は休館) 10:30～16:00

場所: 立教大学池袋キャンパス 6号館隣

入場: 無料・予約不要

10名以上で来館する場合は見学1週間前までに要予約



▲ 大衆文化研究センターWebサイト



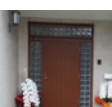
▲ 大衆文化研究センター表札



▲ 平井家表札



▲ 乱歩邸外観



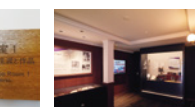
▲ 玄関



▲ 応接間



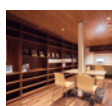
▲ 展示室1サイン



▲ 展示室1



▲ 展示室1展示品



▲ 文庫



▲ 検索端末



▲ 展示室2

立教大学図書館 常設展示

立教大学図書館では、このほかにも数多くの貴重な資料を所蔵しており、期間限定で公開しています。普段は公開していない貴重資料をご覧いただけます。過去の展示概要、貴重資料の一部は図書館Webサイトで公開しています。



これまでの
常設展示

2025年度秋学期の
企画にもどうぞ期待!

図書館が
所蔵している
貴重・準貴重書

